



令和7年8月の大雨から、間もなく1年

特集 あの日の経験を これからの備えへ

市内に甚大な被害を及ぼした令和7年8月の大雨。間もなく1年を迎えるに当たって、あの大雨を振り返り、私たち一人一人が日頃からできる備えについて改めて考えてみましょう。

問い合わせ 市危機管理課 ☎0940・43・8107

記録的な大雨が及ぼした 甚大な被害

令和7年8月、記録的な大雨によって、市内各地で大きな被害が発生しました。

8月9日夜から翌10日にかけて、市には大雨警報や土砂災害警戒情報、洪水警報が相次いで発表され、8月10日午前0時過ぎには福津市付近で1時間に約110mmの記録的短時間大雨情報が発表されました。福岡管区気象台によると、9日から12日にかけての総降水量は、福岡地方や北九州地方の沿岸を中心に600mmを超える記録的な大雨となり、住家や道路、公共施設などに甚大な被害が出ました。

災害救助法の適用対象に

この大雨によって、住家の浸水被害などが拡大し、市は県で唯一、災害救助法の適用を受けました。令和8年3月27日時点で、住家被害は、全壊2世帯、中規模半壊2世帯、半壊73世帯、準半壊8世帯、準半壊未満92世帯に上っています。

あの日から、間もなく1年がたちます。時間の経過は、雨の恐ろしさや避難する際の判断の難しさを、少しずつ記憶から遠ざけていきます。しかし、災害はいつ起こるか分かりません。

大雨による影響と支援

令和7年8月の大雨では、

2人の尊い命を失い、住家被害のほか、公共施設や文化財、福祉施設などにも被害が出ました。

市内各地で土砂の流出や施設の損壊などが発生し、地域の暮らしに大きな影響を与えました。被害を受けたかたに対しては、り災証明書や被災届出証明書の申請受付を行い、各種支援制度の案内も進めて

いきました。

また、被災住宅の応急修理や生活必需品の給与に災害救助法が適用されたほか、災害弔慰金の支給や、災害援護資金貸付制度の対象にもなりました。

市独自の支援として、住家の被害の程度に応じた市災害見舞金の支給や、民間企業から寄付を受けた家具の供与、

市県民税などの減免・猶予、障害福祉サービス等利用者負担額の減免、被災ごみの仮置き場設置や古賀清掃工場および不燃物処理場への自己搬入費用の減免、消毒液の配布などを行いました。

「経験を「備え」につなげる

災害時には、行政による支

援だけでなく、地域での声かけや助け合いが大きな力になります。一方で、災害対応の中では、情報の伝え方や避難のタイミングなど、今後に向けて市が見直すべき課題も見えてきました。

この経験を、単なる過去の出来事として終わらせないと。それが、これからの災害に備える第一歩です。

あの時、福津市では

令和7年8月

り災証明書発行件数

- ・ **全壊** 2世帯
- ・ **中規模半壊** 2世帯
- ・ **半壊** 73世帯
- ・ **準半壊** 8世帯
- ・ **準半壊未満** 92世帯

合計 177世帯

※令和8年3月27日時点

8月9日	8月10日
<ul style="list-style-type: none"> 午後9時16分 大雨(土砂災害)警報 午後9時35分 土砂災害警戒情報 午後11時49分 洪水警報、大雨警報(浸水害) 	<ul style="list-style-type: none"> 午前0時00分 自主避難所として福津市役所を開設 午前0時00分 時間雨量62mm計測(津屋崎観測所) 午前0時20分 記録的短時間大雨情報 午前7時00分 災害対策本部設置 午前8時15分 大雨警報(浸水害)解除 午前9時00分 自主避難所閉鎖(福津市役所)、自主避難所開設(ふくとぴあ) 午後0時07分 大雨警報(浸水害) 午後3時00分 「警戒レベル4 避難指示」発令、避難所開設(市内8カ所) 午後5時00分 時間雨量61mm計測(津屋崎観測所) 午後5時10分 西郷川四角橋 氾濫危険水位 超過 午後5時40分 西郷川四角橋 最高水位(3.95m)

午後5時00分 「警戒レベル4 避難指示」解除、全避難所の閉鎖、災害対策本部解散

※警戒レベルは令和7年8月時点の区分

大雨から学ぶ 命を守るための備え

大雨による災害は、地震と異なり、ある程度は事前に予測できる場合があります。だからこそ大切なのは「危なくならないから考える」のではなく「危なくなる前に準備しておく」ことです。

市では、防災マップを通じて、大雨や洪水、土砂災害の危険箇所、避難所、避難行動の考え方などを案内しています。自分の住んでいる場所などのような危険があるのかを、普段から確認しておくことが大切です。また、危険区域以外でもさまざまな要因によって災害が発生する可能性があることを理解しておくことも大切です。

防災マップだけでなく、防災情報を入力する手段として、防災アプリや気象情報、河川情報などを日頃から活用し、必要な情報をすぐに確認できるようにしておきましょう。命を守るための備えとして大切なことは、自分の住んでいる場所の危険性を知ること、



▲家族で防災マップを確認

避難する場所と経路を決めておくこと、必要な持ち出し品を準備しておくこと、そして家族で「いつ、どこに、どう逃げるか」を話し合っておくことです。

マイ・タイムラインを 作りましょう

マイ・タイムラインとは、大雨や台風の接近時に、自分や家族がどの段階で何をするかを時系列で整理しておく避難行動計画です。

例えば「警報が出たら情報を確認する」「高齢の家族がいるので早めに移動する」「夜になる前に避難する」など、家庭ごとの行動をあらかじめ決めて

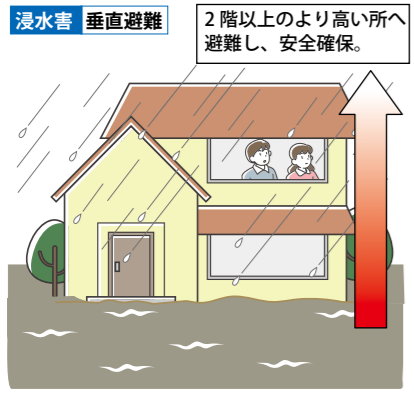
ておくことで、いざというときに落ち着いて行動しやすくなります。

早めの防災対策・避難行動を

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で自然災害が発生しやすい季節です。

市から高齢者等避難の発令があったときは、高齢者や子どもがいるなど、避難に時間を要する家庭では速やかに避難を開始しましょう。それ以外の家庭でも、いつでも避難を開始できるように準備するとともに、危険を感じたら自主的に避難するようにしましょう。

ただし、既に周辺で災害が発生している場合や、暴風・大雨などで避難場所までの移動がかえって危険な場合は、自



浸水害 垂直避難

宅の上の階に移動する、崖や沢からできるだけ離れた部屋に移動するなどの方法で身の安全を確保してください。

今日からできる備え

令和7年8月の大雨は、福津市に大きな爪痕を残しました。その一方で、私たちに多くの教訓も残しました。災害は、いつ起きるか分かりませんが、備えることは今日からできます。次の大雨に備えて、まずはできることから始めてみましょう。

例えば「自宅周辺の浸水や土砂災害の危険性を防災マップで確認する」「非常持ち出し品と備蓄を見直す」「避難場所と避難経路を確認する」など、今日から備えることはできます。災害への備えは、自分自身を守るだけでなく、家族や地域を守ることもつながります。あの日の経験を忘れず、これからの安心につなげていきましょう。

市では今後も、防災情報の発信や防災意識の向上に取り組みます。この機会に、ぜひご家庭でも「備え」について話し合ってみませんか。

備えていますか？ 非常持出袋



飲料水 500ml入りのペットボトルを3本以上持ちましょう。



マスク 集団生活を送る避難所では、かぜやインフルエンザなどの感染症が広がるおそれがあります。また粉じん対策にもなります。



懐中電灯 できるだけ1人1つ持ちましょう。



薬 持病の薬はいつでも持ち出せるようにしておきましょう。



雨具 身動きの取りやすいカッパがおすすめです。



タオルやブランケット 体を拭くための小さいタオルや、暖を取るための毛布もあると良いです。



女性のための災害対策ハンドブック 避難所での過ごし方や備えておきたい物、防犯面への配慮など、実際の声をもとに、災害時に自分や大切な人を守るためのヒントをまとめています。

男性にも読んでほしい！

これも持って
おきたい！

マイ・タイムライン (防災行動計画) | 大雨に備える5つのステップ (平時の備え)

ステップ1 自宅周辺の危険性を知る
○ハザードマップを確認する など

ステップ2 警戒レベルの確認【レベルと行動】
○レベル3:高齢者等避難
避難に時間を要する人は危険な場所から避難
○レベル4:避難指示 危険な場所から全員避難
○レベル5:緊急安全確保 命の危険。直ちに安全確保

ステップ3 情報収集の手段の確保【情報源】
○防災すまっぼん
○ふくおか防災ナビ「まもるくん」
○川の防災情報 など

ステップ4 避難行動のポイント

- 水害の危険サイン(道路冠水が始まるなど)
- 土砂災害の危険サイン(地鳴りなど)
- 2階以上の安全な部屋へ移動する「垂直避難」で安全が確保できない場合は、避難所などに避難する「水平避難」(立退き避難)
- 避難先を決め、避難先までの経路を確認する

ステップ5 非常持ち出し品の準備

- 最低限の持ち物
- 飲料水 □非常食品 □懐中電灯 □モバイルバッテリー
- 常備薬・救急セット □貴重品 □タオル・衣類・雨具
- 乳幼児用品(ミルク・紙おむつ) □ペット用品

マイ・タイムライン ※防災気象情報と行政からの情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません

警戒レベル	防災気象情報	行政からの情報	基本的事項	あなたの行動計画
レベル1	早期注意情報		・天気予報の確認 ・家族の予定、連絡手段共有	
レベル2	レベル2 大雨注意報 レベル2 土砂災害注意報		・避難先、避難経路確認 ・最新気象情報の入手	
レベル3	レベル3 大雨警報 レベル3 土砂災害警報	高齢者等避難	・避難場所、開設状況確認	
レベル4	レベル4 大雨危険警報 レベル4 土砂災害危険警報	避難指示	・避難完了	
レベル5	レベル5 大雨特別警報 レベル5 土砂災害特別警報	緊急安全確保	・命を守る行動を ・安全な場所へ直ちに移動	